

令和元年 7 月 5 日

市原市議会議員 ████████ 様

古関東深海盆ジオパーク推進協議会
会長 楡井久

「チバニアン」に関わる科学倫理違反のねつ造・改ざん行為に関する資料の送付

向暑の候、議員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げますと共に、市原市政発展のための日夜のご尽力に敬意を表します。

6 月 24 日に小出譲治市原市長は緊急記者会見を行われました。内容は『『養老川流域田淵の地磁気逆転地層』保存活用に向けた取り組みについて』として、1. 保存活用計画・整備基本計画の策定、2. 仮説ガイダンス施設の設置、3. 「市原市養老川流域田淵の地磁気逆転地層の試料採取のための立ち入りに関する条例」制定に向けた取組、の 3 点でした。

千葉県市原市田淵の崖が千葉セクション（「チバニアン」と呼ばれている崖）という地質の時代区分の国際標準模式断面・点（GSSP）の国際機関申請について「問題がない」と報道されています。しかし、「どのようなこと」が「いかなる理由で」問題がないと判断されたのか、具体的説明はなされていません。

申請に至る一連の過程で開かれた INQUA（国際第四紀学連合）主催の 2015 年 8 月に実施された国際現地討論会（GSSP 選定に関わる準公式行事）において、ねつ造・改ざんされた古地磁気データによる説明が行われました。古関東深海盆ジオパーク推進協議会は、この科学倫理違反行為を行った古地磁気研究者達によってしっかりとした対応（公開、反省、謝罪、教訓の汲み取り、再発防止策の検討など）が未だになされないままであることを指摘しております。

このような行為は現在国際的な問題となっている我が国の科学技術論文の信頼の失墜とともに、高品質を保証していた日本ブランドも失墜させかねません。

添付致しました本年 1 月に実施した国内の報道機関を対象とした記者会見時の資料、および本年 6 月 19 日付け市原市長宛て文書をご覧いただき、養老川田淵を抱える地元市議会の議員として、GSSP 申請に関わる科学倫理違反行為についての問題点を真剣にご議論頂きますようお願い致します。